



# 伊野-INO-

～やって未来こい！

いの ENO暮らし2030～



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5  
Tel : (0853) 69-1526 Fax : (0853) 69-1530  
E-mail : ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター  
ホームページ



伊野地区自治協会  
ホームページ



伊野地区自治協会  
Facebook



伊野地区情報発信部会  
Instagram



一伊野地区の人口—  
(R5.12月末現在)

男性… 562人  
女性… 607人  
合計… 1,169人  
世帯数… 419世帯

## 龍のように 力強く！ 一畑薬師 目指して 初詣ランニング

14名参加



毎年雨や雪に見舞われ開催が危ぶまれる初詣ランニング。今年も時折雪が散らつき冷たい風が吹く中、コミセンから畑町内を抜け一畑薬師本堂までの片道約4km、往復8kmの道のりをみんなでランニングしました。小学1年生から高校生、大人までみんな自分のペースで楽しくランニング。最後の難関、名物1,300段の石段では友だち同士競い合って駆け上る児童も。日頃運動不足の大人は一段ずつ上がるのがやっとなりました。本堂を参拝し、一畑茶をいただき体を温めたあと、児童はおみくじをひいて運試し。その後再びコミセン目指して復路ランニング。健康増進と参加者同士交流を図るよい機会となりました。

(自主企画事業 スポーツ部)

## ino.ti プレゼンツ！ 家族のじかん

1/14 来場者100人超



ino.ti～中山間地域の未来へ～の皆さんが休日のひととき、家族でふれあえるイベントを企画。地区内外から総勢100人を超える家族連れの来場がありました。屋外では焚火ブースや飲食ブースが設けられ、火を囲んで暖を取りながら親子で楽しむ姿も。また、屋内では折紙や的当て、スライムで遊べるコーナーやおさがりマルシェ、ドリンクコーナーやハンドマッサージでまったりするなど、休日のひと時、大人も子どもも家族みんなで楽しい時間を過ごせたようです。次回のino.ti主催こどもマーケットは5月に開催予定です。お楽しみに。



ino.tiのメンバー



# やって未来こい!通信

続報

8家族24名参加

## 12/3 クリスマスグッズをつくろう 教育部会

教育部会の兼折治加さん(三ノ谷)が講師を務めて開催した自然物を使ったクリスマスリースづくりとオリジナルカードづくり。難しいところは親御さんが手伝いながらみな思い思いのデザインで世界にひとつの素敵なクリスマスグッズが完成。親子でものづくりを楽しむひと時となったようです。



10月から毎月1回 参加者延べ160名

## いの食堂スタート! いの食堂実行委員会

食を通して交流を図ろうと、いの食堂実行委員会が「いの食堂」をオープン!他にもこども食堂はありますが、いの食堂の特徴はなんといっても毎月シェフが代わること。初回は実行委員会メンバーが作るスタミナ丼、11月は多久和奈穂子さん(松枝)らを作るハンバーガー、12月と1月は多久和喜代美さん(三ノ谷)らを作るハンバーグやミートスパゲッティなど、毎月作り手が代わるのでメニューも様々。対象は高校生以下のお子さんとその家族。利用料は高校生以下100円、大人300円。申込みは伊野小に配布しているチラシまたはSNSで受け付けています。次回は2月18日(日)です。数量限定なので申し込みはお早目に。食材の寄贈も受け付けています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



来場者40名

## 12/17 田舎の小さな音楽会 交流部会

恒例となった、たるみ邸でのクリスマス音楽会。今年も地区内外の演奏者によるクリスマス楽曲の音色に会場内はとても温かい雰囲気になりました。また、この音楽会では初となるエンターテイナーゆーきさんによるマジックショーもあり、子ども大人も驚きと笑いのあるとても楽しい時間となりました。(交流部会長 多久和 秀政)



6名受入

## 12/5 くにびき学園生来訪

毎年くにびき学園の生徒さんが伊野に勉強に来られます。今年も伊野のまちづくりや未来こい!ネットの活動について事務局長の多久和祥司さんから説明を受けたあと、自治協会長やセンター長も交えて意見交換を図りました。生徒さんは熱心にメモを取り、ここでの学びを持ち帰られました。



6名参加

## 12/10 SDGs de 地方創生 カードゲーム体験会 教育部会

教育部会の兼折治加さん(三ノ谷)が講師を務めて初開催した体験会。小、中、高校生と大人の異年齢が参加。プレーヤーは役所の人や住民の立場に分かれ自分たちの住むまちの課題を解決するためにどんな対策を施せばよいかを考え実践していくカードゲームです。自分の考えを主張できるプレゼンテーション力や相手に協力を得るためのコミュニケーション力、先を見通す力などもこのゲームを通して培うことができます。あっという間に2時間が立ち、みな初めて体験しましたが「面白かった!」「学校でもやりたい!」と好評。今後も開催していきますのでぜひ皆様ご参加ください。



このゲームを通して培うことができます。あっという間に2時間が立ち、みな初めて体験しましたが「面白かった!」「学校でもやりたい!」と好評。今後も開催していきますのでぜひ皆様ご参加ください。

12/17 12/23 12/24

農水部会

## 耕作放棄地復活プロジェクト そば打ち体験



草刈り、耕作、種蒔きを経て、刈り取り、脱穀、そして12月には念願のそば打ちを行いました。3回に分け、延べ50名がそば打ちに挑戦。これまで苦勞した甲斐もあり、手作りそばの味は格別だったようです。県外や家族で参加される方も増え、そばプロジェクトの



メンバーは毎年増加しています。我こそは!という方はぜひ来年度お申込みください。

10名受入

## 12/11 松江市教育事務所視察団来訪



松江市教育事務所の皆さんが伊野のまちづくりや教育活動における取組を参考にしたいと視察に来られました。古民家たるみにて未来こい!ネット事務局長の多久和祥司さんより伊野のまちづくりと教育について説明を聞いた皆さんは大変興味関心をもたれたようで、沢山の質問も飛び交い、「学校を核とした地域づくりを進めるうえで伊野の取組は大変参考になります」との声をいただきました。

未来こい!ネットの活動の様子は自治協会ホームページの「未来こい!ネット通信」やYouTubeでも紹介しています。ぜひご覧ください。

地域おこし協力隊

あさ えだ しょう こ  
朝枝尚子 さん



朝枝@協力隊の  
出雲伊野暮らし

★ 連載 -第8回-

～娘の伊野暮らし～

新しい年が始まりました。協力隊としての3年の任期も、早いもので半分以上が過ぎました。任期後の活動に向けて気持ちばかり焦っている朝枝ですが…まずは今年もどうぞよろしくお話をいたします。

昨年の春、島根にUターン移住するにあたって、私が一番心配していたのは娘のことでした。移住を言い出したのは娘本人でしたが、やはり、1人も知り合いのいない環境へ飛び込んで上手く馴染んでくれるだろうか…。3年間の高校生活を楽しんで過ごしてくれるだろうか…。と、内心は心配をしていたのです。ですが結果から言うと今現在、娘は出雲ぐらし、伊野ぐらしを楽しんでくれているようです。高校はクラスメイトにも恵まれ、ストレスフリーの様子。そして伊野でもたくさんの方達にお世話になっている彼女。地域のなかに顔なじみが出来て安心したのでしょうか、昨年はなかなか参加が出来なかった地域でのイベントにも一緒に参加するようになりました。地域の方達と関わるなかで、親という立場では教えられないたくさんの事を教えてもらい、色々なことを感じ取っているのだと思います。

今年の春で高校3年生になる娘です。今後の進路によってはまた別の土地で暮らすことになるかもしれませんが、伊野で暮らす3年間はきっと彼女のなかで大きな経験と大切な思い出になって残るだろうと思っています。親子共々、引き続きお世話になります。



出雲の海にて

# 和ハーブのススメ

1月【フキ】キク科 フキ属

“フキ”は馴染みのある和ハーブだと思います。新春の今の時期から楽しみな“フキノトウ”は積もった雪を掘ってでも探したくなります。天ぷらやふきのとう味噌など、独特のさわやかな香りと苦みがたまりません。“フキノトウ”は“フキ”の花芽です。雄花と雌花があり、雌花は暖かくなる4月頃に花茎を高く伸ばし綿毛をつけた種を風にのせて飛ばします。その頃になると長い葉柄部分をいただきます。煮物やお浸し、漬物など、長い期間楽しむことが出来ます。ちなみに、“フキ”の茎はどこにあるでしょう？答えは土の下です。夏のあいだに茎に養分を蓄えて、株を増やしていきます。植物全体に弱い毒(アルカロイド類)を持ちますが茎は特に毒が多いので食べるのは控えましょう。



ふきのとう

## 普通救命法講習会

12/10 参加者26名



伊野地区は救急車が到着するまでに15分以上かかる地区です。心肺停止してから救急隊が到着するまでの15分間、私たちにできることはないのでしょうか。このたびFR隊の皆さんと一緒に救命措置の有効性と心肺蘇生法、AEDの使用法、FR隊の存在意義について平田消防署の方に指導いただきました。

いつ何が起るかわかりません。いざという時に行動できるよう知識と経験を積んでおくことは大切です。今後も講習会を開催していきます。どなたでも参加できますのでぜひ皆さんご参加ください。

(自主企画事業 総務部)



## 青パト隊

12/20

年末一斉パトロール

年末の事故が多くなるこの時期に、青パト隊の皆さんによる年末一斉パトロールを毎年実施しています。この日も雨が降る中、6名の青パト隊の皆さんと小境駐在所の岡村さんが下校する児童らに合わせて各町内の通学路のパトロールを実施してくださいました。反射タスキの着用と早めのライト点灯、明るい服装に心掛け事故を未然に防いで交通安全に努めましょう。



## 自衛消防訓練実施

1/11

コミュニティセンターでは年2回の消防訓練が義務付けられています。この日はコミセンを利用しておられた住民の方と職員で火災を想定した避難訓練を実施。大事なことは火事が起きたらまず大声で知らせること。そして初期消火を実施すると同時に避難誘導と通報を行います。元日の航空機事故における避難誘導が称賛されていました。慌てず騒がず冷静に。避難の際に転んでケガをしてしまったり逃げ遅れてしまいます。いざという時に備え、これからも災害を想定した訓練を繰り返し実施していきたいと思えます。



## 手づくりハムをつくる会

参加者10名

1/19



皆さん、ハムを手作りしたことありますか？100%豚肉のみで作るハムは市販のものとは別物！一度食べたら病みつきになります。講師はお馴染み多久和奈穂子さん(松枝)。初めての方も経験者の方も、皆さん一緒に和気あい

あい、2時間ちょっとで完成。これを冷蔵庫で一晩寝かせたあと1時間半茹でます。茹でたて熱々のハムは絶品です！なんでも手作りに勝るものはありませんね。食を通して交流する良い機会となりました。

(自主企画事業 総務部)



## 「竹林寺の跡」

松枝町内の川瀬家(中前)の脇から圓通寺下前に行く中道通りの南の林の中にあります。現在は多久和家(竹名)が管理しておられます。多くの墓石や灯籠と思われる石が散らばる中央に、小さな厨子が置かれ本尊が安置されています。ここは圓通寺が開かれるずっと前から寺院として栄えていたようですが詳細は不明です。(郷土誌研究会 常松 士郎氏)



## 古民家垂水 クラウドファンディング終了



図書室リフォーム前

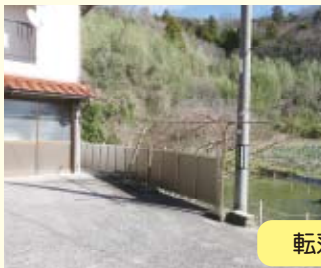
この垂水邸はどなたでもご利用いただけます。友人との茶話会に、友だちとの勉強スペースに、音楽を聴きながら読書でも…。ぜひ皆さんお気軽にご利用ください。利用申込はコミセンまで。

古民家を改修するための費用をクラウドファンディングで募集したところ30万円の寄付が集まりました。皆さんありがとうございました。この資金を活用し、図書室、転落防止柵の設置が完了。エアコンも取付予定です。



図書室

なお、現在図書室に置く本を集めています。寄贈いただける方がありましたらお知らせください。



転落防止柵設置



## 赤ちゃん紹介



さとう めい  
佐藤 芽衣 ちゃん

女の子



令和5年12月1日生まれ  
父：健人さん、母：玖留未さん  
(西地合町内)

両親からのメッセージ

これからいっぱい思い出作って  
いこうね!!

## 西地合こども神楽舞奉納

1/3



西地合町内では毎年1月3日に歳徳神さんへ子どもたちが神楽舞を奉納します。現在小学生から高校生まで10名が在籍し、うち小中学生の8名は12月から週5日、1回およそ2時間練習を行い3日の本番に備えて

きました。当日はOB、OG、大人も加わり、13演目のうち7演目を披露。親戚、知人など多くの方が当屋に集まりました。現在28軒の氏子があり、このたびの当屋は佐藤利春さん宅(福屋)が務められました。翌日4日にはとんどさんを行い、無病息災と家内安全、五穀豊穡を祈願し一連の神事を終えられました。

伝統ある西地合こども神楽。今後も絶やすことなく続いていくことを願っています。



## 伊野が新聞に載りました

令和6年1月1日の山陰中央新報の一面に伊野地区の記事が取り上げられました。伊野地区は平成27年に伊野小学校を地域に残す決断をしてから様々な取組を行い、減少していた児童数も現在は10年前の児童数にまで盛り返しました。しかし今年度地区で誕生した赤ちゃんはわずか一人。少子高齢化の勢いは止まりません。元日の能登半島地震のように、いつどこで災害が起こるかわからない今こそ、持続可能な地域づくりのため、地域コミュニティをより一層高めていきたいと思います。皆さん、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(コミセン職員一同)

### 子どもは地域の希望



地域の安全を守ります

令和5年4月より出雲市交通指導員(伊野地区)として多久和直夫さん(東地合)に務めていただいています。小学校での交通安全教室に参加していただいたり、毎朝登校する児童の安全確保のため、高山橋にて立哨活動をしていただいています。

多久和さん、いつも伊野地区の安全安心のためにご尽力いただきありがとうございます。